



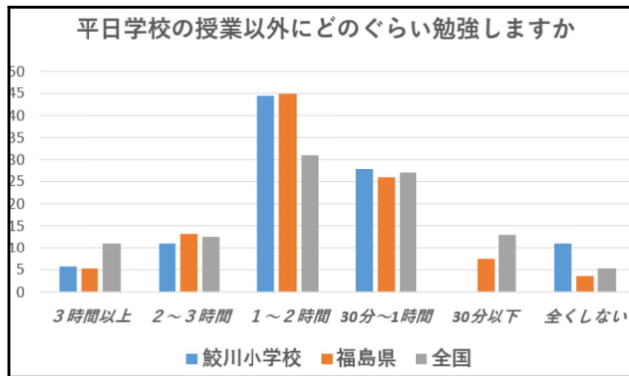
特集 「子ども達の学力を伸ばす」第1弾 全国学力・学習状況調査の分析から

全国学力・学習状況調査（4月実施 6年生）の結果について、先日の新聞等で公表されました。また、福島県が行っている学力調査（4月実施）の結果についても、まもなく結果が届き、該当学年（4・5・6年生）への配付する予定となっています。

結果をもとに、鮫川小学校の子ども達の強み・弱みを見極め、学力向上を図るべく、日々の授業等に生かしていきます。

全国学力・学習状況調査の結果からは、国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「書くこと」の領域を伸ばしていくことが必要であるという結果が見られました。算数では、「変化と関係」についての知識・理解に苦手さが見られました。

学校と家庭の連携について（調査：質問紙から）



学力・学習状況調査の結果から、鮫川小学校は、家庭での学習時間（平日・休日等）が全体的に多いことが分かりました。鮫川小学校と全国と比較してみると、1時間~2時間の学習をしている児童は、鮫川小学校も福島県全体も家庭学習の時間は十分に行っている結果となっています。ただ、「全くしない」と答える割合が多いことも分かります。もちろんこの質問には、学習塾の学習時間も入っていますので、一様に比べることはナンセンスです。そこで、鮫川小学校の6年生の実態として、ひとり一人の家での学習時間と学力の相

関関係を見てみました。すると、やはりテストの正答率と家での学習時間には関係が見られました。1時間未満の学習時間の児童は、正答率がかなり低い結果でした。ここから見てくることとして、

○1時間以上学習しているお子さんの正答率が高い。

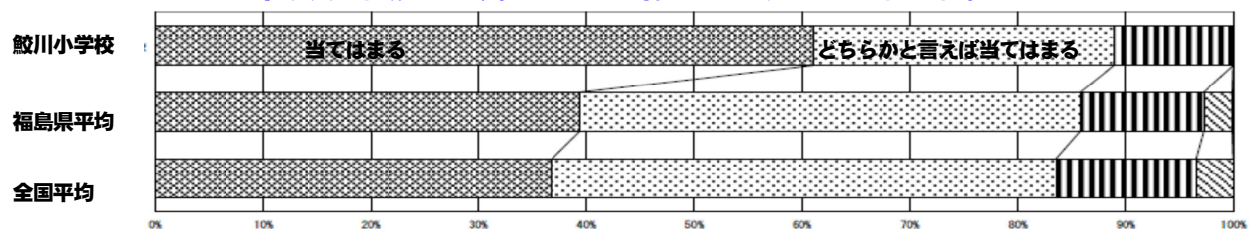
▲しかし、ただ長い時間勉強をしているだけでは成果として表れていない。

長い時間、家でも学習したら学力は高くなるのかと言えば、そうではありません。何より大前提は、「学校での学習を充実させること」であり、先生方一丸となって取り組んで参ります。その上で、「家庭学習の質の向上」も図っていく必要があると言えます。「長くやったからよい」ではなく、子ども達ひとり一人が、自分の苦手を自分で克服するような力や、その学習の仕方を身に付ける必要があります。これは、学校でも宿題の出し方を考えていかななくてはなりません。そして、宿題の取り組みせ方については、保護者の皆様の協力も不可欠です。子ども達の夢を広げるためにも、ご協力をお願いいたします。

学校では、これらの結果を分析して日々の授業に生かし、さらに学力向上を目指します

質問紙から見てくる「さめっ子」の素晴らしさ！Part 1

今回の学力学習状況調査の質問紙の結果からは、さめっ子の素晴らしさがたくさん見られました。**社会や地域をよくするために何かしてみたいと思いますか**



鮫川小学校（6年生）の子どもたちは、地域貢献に対する意識が高いことが分かります。これは、鮫川村を愛する郷土愛の表れと言えます。地域とのつながり、人とのつながりを大切にしたい鮫川村の「教育・地域・人」の素晴らしさだと思います。まさに、地域の宝であると実感しました。

難問に挑戦（全学年 対象問題）

全学年を対象に問題を出題します。

○お家の人と一緒に考えてよいです。（知恵をかりて一緒に考えてみてください。）

○解答用紙は、A4の用紙（縦）であれば、家庭にある白紙（コピー用紙や広告の裏）なら、何でも結構です。

●お家の方が考えるのはOKですが、解答用紙に記入するのは児童にさせて下さい。

※児童の自筆で提出して下さい。学年名前を忘れずに！！

今回の提出期日は、来週の9月17日（火）とします。

提出先は校長です。校長室に直接持ってきて下さい。

難問に挑戦 ※今回は計算・頭の体操！

次の式にある記号は、それぞれ違う数字が当てはまり、正しい計算式（筆算）になります。

$$\begin{array}{r} \triangle \quad \star \quad \heartsuit \\ - \quad \quad \triangle \quad \star \\ \hline \triangle \quad \triangle \quad \star \end{array}$$

$$\begin{array}{l} \heartsuit = \square \\ \star = \square \\ \triangle = \square \end{array}$$

それぞれの記号の数字は？

次号で合格者を発表します。